

中田

浅水で20年目のこいのぼり



▲20年目を迎え、すっかり季節の風物詩となった浅水のこいのぼり

子どもたちの成長願う

浅水コミュニティ運営協議会(大内直人会長)では4月9日、浅水ふれあいセンター敷地内に110匹のこいのぼりを掲げました。地域の子どもたちが元気にたくましく成長することを願って、平成6年から毎年掲げられてきたこいのぼりも、20年目となりました。こいのぼりは各家庭から寄贈されたものです。今年市広報紙でも寄贈を呼び掛けていました。今年このこいのぼりは5月10日までです。色とりどりのこいのぼりが、子どもたちの健やかな成長を見守るよう元気に泳いでいます。

迫

スポ少迫支部が清掃活動



▲普段使用しているロッカーも心を込めて清掃しました

活動施設に感謝込めて

市スポーツ少年団迫支部(阿部正一支部長)では「クリーンキャンペーン」として、日頃活動している施設や周辺環境に感謝の気持ちを込めた清掃活動を実施しました。清掃活動は3月21日から3日間に渡って実施。迫支部に所属する11団体のスポーツ団員と保護者、指導者などがそれぞれの活動場所の清掃に当たりました。期間中には、寒風が吹き小雨が降る中で作業となる日もありました。それでも子どもたちは、日頃使用している施設周辺のごみを拾ったり施設内の窓ガラスを丁寧に拭いたりしていました。

交通事故のないまちを

春の交通安全週間初日となる4月7日、豊里地区の合同出発式がJAみやぎ豊里豊里支店前で実施されました。出発式には交通安全協会豊里支部や交通安全母の会など約50人が参加。「交通事故のない安全安心なまちづくり」を宣言し、それぞれ街頭指導に出発しました。街頭指導では、会員らが信号待ちのドライバーにチラシや母の会手作りの折り鶴を手渡し、安全運転を呼び掛けました。この日は「着ぐるみ作戦」も実施。パナダ、サル、トラの3匹の着ぐるみが県道を走るドライバーに手を振り、交通安全をアピールしていました。

動物の着ぐるみもアピール

豊里



▲ドライバーに安全運転をアピールする着ぐるみのトラ

地域が協力し美化活動

とよまコミュニティ運営協議会(須藤勝利会長)が、県から「スマイルサポーター」に認定されました。「スマイルサポーター」は、県が管理する道路や植樹帯などの清掃・緑化活動に協力する地域の個人や団体を「里親」として認定し、活動を支援する制度です。3月18日に登米公民館で行われた認定式では、コミュニティと市、県の3者が、県道築館・登米線や寺池地区内の一部区間の植樹帯で除草などを行う覚書に署名。コミュニティの須藤会長に、県からスマイルサポーターの認定証が交付されました。

スマイルサポーターに認定

登米



▲スマイルサポーターの認定証を受け取る須藤会長(右)

米山

31回目の東京米山会を開催



▲懇親会恒例の中学校校歌の斉唱。何年たっても忘れることはありません

ふるさと思い集い語る

3月9日、東京のホテル「アンフェリー」を会場に東京米山会の総会が開催されました。東京米山会の総会は今年で31回目。この日は都内に住む会員や本市からの参加者など95人が出席しました。総会では会長に佐藤順二さん(新町出身)が、副会長に齊藤勝朗さん(六軒屋敷出身)、岡崎芳雄さん(山吉田出身)、田中奎子さん(畑崎出身)がそれぞれ選出されました。総会後の懇親会は、地区対抗歌合戦や歌謡ショーなどで大いに盛り上がりました。道の駅米山の物産販売もあり、参加者は懐かしいふるさとの味を買い求めていました。

東和

錦織小で春の交通安全教室



▲自転車の交通ルールを学ぶ児童たち

皆で学ぼう交通ルール

錦織小(齊藤達彦校長・児童数64人)では4月10日、同校の校庭で「春の交通安全教室」を実施しました。この日は、交通指導隊の指導を受け、学年ごとにさまざまな訓練を行いました。1、2年生は、道路を安全に渡るための一時停止や左右の安全確認などの訓練、3年生は、自転車での安全確認などの訓練、4、5年生は、模範道路での安全確認や信号などを訓練しました。真剣な表情で訓練に取り組んだ児童たち。6年生の児童は「手信号が難しかった」と話していました。